

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(6月13日～6月19日)

2022年8月11日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●米国商務省はベラルーシ国営航空「ベラヴィア」に対する制裁を拡大(6/16)

【ルカシェンコ大統領動静】

●セルゲエンコ大統領府長官、ヴォルフオヴィチ国家安全保障会議国家書記、テルテリ国家保安委員会(KGB)委員長からの報告を聴取

大統領は要旨以下を述べた。

- ・KGBの役割と機能を見直す時が来た。
- ・諜報、防諜、立憲体制の防衛、テロ対策等の既存の事柄を強化するとともに、ハイブリッド戦争という状況を踏まえ、情報の安全への取り組みも強化も必要。(6月13日 大統領府)

●マイクロエレクトロニクスの現状と発展に関する会合

大統領は要旨以下を述べた。

- ・ベラルーシは、電子戦関連装備の分野で世界的な有力国の1つであり、スマートな無人航空機の生産の分野でも多くを成し遂げてきた。
- ・防衛関連分野でも、未だ輸入品のコンポーネントに依存している。政治的圧力と貿易戦争は、ハイブリッドな対立へと発展する。
- ・この分野でロシアと協力する必要あり。ロシアはこの分野で我々に出資する用意がある。
- ・外圧や制裁に関わりなく、ロケットや飛行機は飛ばなければならない。現在はベラルーシのマイクロエレクトロニクス産業やその他の産業にとってチャンス。こうした製品は大いに必要とされており、特に兄弟国であるロシアで必要とされている。

(6月14日 大統領府)

●ジャ駐ベラルーシ・インド大使との会談

(1)ルカシェンコ大統領の発言

- ・ベラルーシも、成長を続けるインド経済の中で自らの場所を占めたい。また、あらゆるレベルにおいてインドからの支持をいただきたい。
- ・インドはベラルーシにとって、アジアにおける最も重要なパートナーの一つ。両国はソ連時代以来の友好国であり、今日も政治・経済分野で良好な関係を構築できている。

(2)ジャ駐ベラルーシ・インド大使の発言

- ・インドにとってもベラルーシは、この地域における最重要パートナーの一つ。
- ・ベラルーシとインドの関係は、インドと他のパートナーや他の国家との関係に左右されるものではない。

(6月16日 大統領府)

●モギリョフ州ボブリスク地区を訪問

大統領は要旨以下を述べた。

- ・ウクライナがベラルーシ国境を侵し、(ゴメリ州南部の)モズィリ製油所を標的にするようなことがあれば、即座に反撃する。だから我々には手出し無用に願う。我々もウクライナに行くつもりなどない。
- ・ベラルーシはこの戦争に巻き込まれてはならず、この地を守るべき。

(6月17日 大統領府)

【外交】

●米国は、ルカシェンコ大統領と高官を対象とする制裁を1年延長

- ・本制裁は、2006年6月16日に導入されたもの。

(6月13日 米大統領府、6月14日 BPN)

●**米国商務省はベラルーシ国営航空「ベラヴィア」に対する制裁を拡大**

・6月16日、米国商務省は、ベラルーシ国営航空「ベラヴィア」に対する制裁を拡大。同社は、米国の製品や技術に、第三国からの再輸出を含めアクセスできなくなる。

・「ベラヴィア」の運航機材13機のうち、ボーイング機（米国製）が8機、エンブラエル機（ブラジル製）が5機。これら13機のエンジンは全て米国製。

（6月16日 米国商務省、ロイター通信、Planespotters.net、「ベラヴィア」公式サイト）

【内政】

●**各学校の図書館への、配架を停止すべき作家33人の名簿の配布**

・一覧に掲載されているは全員、当局に閉鎖された「ベラルーシ作家連盟」に加盟。

・ノーベル賞受賞作家であるスヴェトラナ・アレクシエヴィチも対象。

（6月14日 ベラルーシ文化評議会、BPN）

●**COVID-19の感染状況、ワクチン接種状況**

クロトコヴァ保健第一次官は、国営「全国テレビ（ONT）」の番組において要旨以下を述べた。

・ベラルーシではオミクロン変異株 BA.2 系統が優勢で、感染全体の約96%。BA.4 系統及び BA.5 系統はベラルーシでは確認されていない。

・ベラルーシでは、6月1日までに総人口の70%がワクチン2回接種済みで、12歳～17歳人口の20%以上も接種完了。

（6月19日 国営「全国テレビ（ONT）」）

【経済】

●**ラトビア当局は、対露・対ベラルーシ制裁回避を400件以上摘発**

・そのうち10件以上は刑事事件として立件。

・最も多いのは、制裁対象品の契約書を、制裁導入以前に契約が締結されたように見せかける偽装。

（6月15日 Delfi.lv、BPN）

●**ウクライナ国家保安庁は、「ベラルーシ石油公社」のウクライナ子会社の資産を差し押さえ**

・ロシアのウクライナ侵略への出資に荷担していたためとされる。

・約2,000万フリヴニャ（約68万ドル）相当の権利や銀行預金等が差し押さえられた。

（6月15日 BPN）

●**リトアニア当局は、ベラルーシ系企業「Belintertrans Baltic」の資産を凍結**

・同社は、ベラルーシ国営「ベラルーシ鉄道輸送ロジスティクスセンター」の子会社にあたる運送業者。

・リトアニアは独自制裁に基づき、同社の資産を凍結。

（6月18日 Delfi.lt）

【抗議勢力の動き】

●**チハノフスカヤ民主勢力代表のポルトガル訪問（6月16日、17日）**

・レベロ・デ・ソウザ大統領、サントス・シルヴァ共和国議会議長らと会談。ベラルーシ人に対する査証・就労許可・居住許可の発給等につき協議。

・ポルトガル在住ベラルーシ人団体とも面談。

（6月19日 チハノフスカヤ民主勢力代表事務所）

（その他）

【その他】

●**欧州サッカー連盟は、「ベラルーシ・テレビ・ラジオ公社（ベルテレラジオコンパニア）」を、UEFA ネーションズリーグの公式放映権者から除外**

（6月13日 BPN）

（了）